

News Release

ニュース リリース

2024年2月15日

各位

株式会社 東名

証券コード：4439

東証スタンダード・名証プレミア

「オフィスあんしんコネクト 119」提供開始のお知らせ

株式会社東名（本社：三重県四日市市、代表取締役社長：山本文彦、以下「東名」）は、オフィス光119サービスをご契約いただいているお客様及びその他光回線サービスをご利用中のお客様を対象に、突然の光回線の故障や地震・災害による通信障害時のバックアップサービスとして、「オフィスあんしんコネクト 119」の提供を開始いたしました。本サービスは、株式会社 MAYA ネットソリューションズ（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：浅野隆司、以下「MAYA ネットソリューションズ」）が、提供する「VOLANS（ヴォランス）」を利用し、何等かの原因で光回線の故障が発生した場合でも、モバイルへ通信を転送し、事業継続をサポートする通信サービスです。



■本サービス提供の背景

東名は、光コラボレーション事業を中核に、全国の中小企業、個人事業主の最良のパートナーとして経営課題解決につながるサービスをワンストップで提供することにより、顧客が本業に専念できる環境づくりを通じて、持続可能な社会の実現に向けて取り組んでまいりました。

我が国の多数の企業は、地震・津波等の自然災害、事故・火災など人為災害、そして記憶に新しいパンデミック等の有事に備え、BCP（Business Continuity Plan：事業継続計画）の策定を行っています。一方で、当社の主たる顧客である中小企業・個人事業主の策定率は増加傾向にあるものの、まだまだ低い水準です。近年では、経営基盤の強化が必要な中小企業こそ BCP 対策を急がなければならないと考えられており、多くの中小企業・個人事業主の喫緊の課題となっています。

さらに、当社の主たる顧客である中小企業・個人事業主の業務は、クラウド化・デジタル化が進み、ITシステムは企業経営に必要不可欠となっています。万が一、ネットワークの故障や災害等が突如発生した場合、事業継続ができず、事業者は大きな企業的損失を被ります。

BCP対策の中で最も欠かせないのは、情報網の確保です。インターネット環境さえ確保できれば、データ回線の不通に伴う業務遅延等のリスクを防ぐことができるため、IT環境の整備は、事業の早期復旧に大きく貢献すると考えられます。そのため、当社が提供している中小企業向け光コラボレーションサービス「オフィス光119」の12万件超（2023年11月末時点）のお客様に対し、光回線の故障や震災時の通信障害時だけでなく、企業のIT環境の整備やBCP対策として重要な役割を果たすと考え、MAYA ネットソリューションズの販売パートナーとして、「オフィスあんしんコネクト119」のサービス提供を開始することといたしました。



■ サービス開始日

2024年2月15日（木）

本サービスの詳細につきましては、以下のURLをご覧ください。

<https://officehikari119.com/service/option/office-anshin-connect/>

■ お問い合わせ先

株式会社東名 IR 担当

Email : ir-info@toumei.co.jp

以上